

平成25年10月7日
記者発表

道の駅「さいかい」で東日本大震災・九州北部豪雨等パネルを展示します

平成23年3月11日に発生した巨大地震が引き起こした東日本大震災は、直接の被災地である東北地方と一部関東地方のみならず、国内外にも多大な影響を与える未曾有の大災害になりました。

また、昨年7月11日～14日に九州北部地方で発生した九州北部豪雨は、土砂災害、河川の氾濫等を引き起こし、熊本・大分・福岡県域を中心に甚大な被害をもたらしました。

復旧、復興は今も続いておりますが、地域の防災力の向上と被災地への思いを風化させないようにするとともに、地域・世代を超えて今回の教訓を共有していくことが大切だと考えております。

このため、国土交通省長崎河川国道事務所は、施設等の被災状況や啓開・復旧への取り組み事例を交えたパネル展を実施します。また、併せて長崎県内の過去の災害(長崎大水害、雲仙・普賢岳噴火災害)についても展示します。

場 所 : 道の駅「さいかい」 情報発信施設
長崎県西海市西海町木場郷488-1
日 時 : 平成25年10月9日(水)～10月15日(火)
展示内容 : 東日本大震災、九州北部豪雨、長崎大水害、
雲仙・普賢岳噴火災害

展示パネルの一例



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所

電話: 095-839-9211 (代表)

技術副所長 たのうら ほうせい うちだ ひとし
田浦 峰星 調査第二課長 内田 均

位置図

東日本大震災・九州北部豪雨等
パネルを展示する道の駅



道の駅
さいかい
Saikai

拡大図

